

# 浄法寺漆塗ハンドル Joboji Urushi steering wheel



岩手県は国産漆の約8割を生産する、日本一の漆産地です。  
岩手県北の二戸市浄法寺町が漆生産の中心となっており、「浄法寺漆」と呼ばれています。

浄法寺漆は、金閣や日光東照宮、中尊寺金色堂などの修理修復に用いられるほどの高品質を誇ります。

その浄法寺漆を使用したステアリングを製作しました。全体を黒漆で塗り、その上に蒔絵(まきえ)と螺鈿(らでん)による装飾を施しています。

花巻市在住の蒔絵師・大川彰氏の手による緻密な高蒔絵と、絢爛な螺鈿が施され、浄法寺漆ならではの質感と相まって高級感あふれる造りとなっております。



モチーフとしたのは、平安時代を代表する国宝「片輪車蒔絵螺鈿手箱」で、牛車の車輪が水面に浮かぶ様子を表現しています。

弊社では、地元産の高品質な浄法寺漆と職人の優れた伝統技術を活用した、漆塗りステアリングをはじめとする乗用車の内装等への応用を提案致します。

岩手の素材と職人で作り上げた、逸品のステアリングです。